

建設環境委員長報告

令和2年6月24日（水）

今期定例会において、建設環境委員会に付託となりました議案3件について、6月17日に現地視察並びに18日に委員会を開催し、審査を行いましたので、ご報告申し上げます。

議第128号「市道路線の廃止について」及び議第129号「市道路線の認定について」は一括議題といたしました。

畑垣深田武代線の廃止、認定についての質疑に対し、執行部より、島根県が行う主要地方道松江鹿島美保関線の改良工事に伴い、現道の終点付近が拡幅されたことにより地番を変更するため、市道路線の廃止及び認定を行うものであるとの答弁がありました。

また、私道の市道編入についての質疑に対し、執行部より、市道への編入には、幅員や延長、車の回転場、複数住宅の建ち並びなどの基準を設け、基準を満たす場合に認定をしているとの答弁がありました。

その他、委員から、新型コロナウイルス感染症の発注工事への影響等についての質疑がありました。

討論で意見はともになく、採決の結果、それぞれ、全会一致で原案可決すべきものと決しました。

承認第15号「専決処分の報告について（令和元年度松江市水道事業会計補正予算（第4号）」は、質疑、意見ともになく、採決の結果、全会一致で原案可決すべきものと決しました。

なお、17日に行った現地視察では、市道古浦西長江線の整備状況を視察し、執行部より、島根県が施工するトンネル工事について、工法の検討や地下水対策等により遅れが生じていることから、令和2年9月末の工事完成を予定しているとの説明を受けました。

以上で、建設環境委員会の報告を終わります。